

呉竹墨すり機専用天輪硯について



天輪硯 大

天輪硯は、超微粉結晶体を鋒鋦とし、特殊な資材を用いた、呉竹墨すり機専用の人造硯です。墨おり性能が良く、磨墨による硯面の摩耗が天然硯よりも少ない硯です。

お手入れ方法

1. 硯の鋒鋦と鋒鋦の間の凹部（谷間）が墨で埋まり凹凸の差が少なくなって磨墨状態が悪くなった場合

ご使用後天輪硯に熱湯を入れ谷間に入った墨分を軟らかくし、湯のさめた頃にタワシで硯面を磨いてください。谷間の墨分がキレイに掃除され復元します。

2. 長時間使用のため（延、使用時間 500 時間以上）鋒鋦の頭が磨滅した場合

天輪硯の硯面を泥砥石で磨いてください。（目立て作業）鋒鋦と鋒鋦の間の凹部を作っている黒い砥物がすりへって谷間が深められ凹凸が進み復元します。

呉竹電動墨すり機

大型機

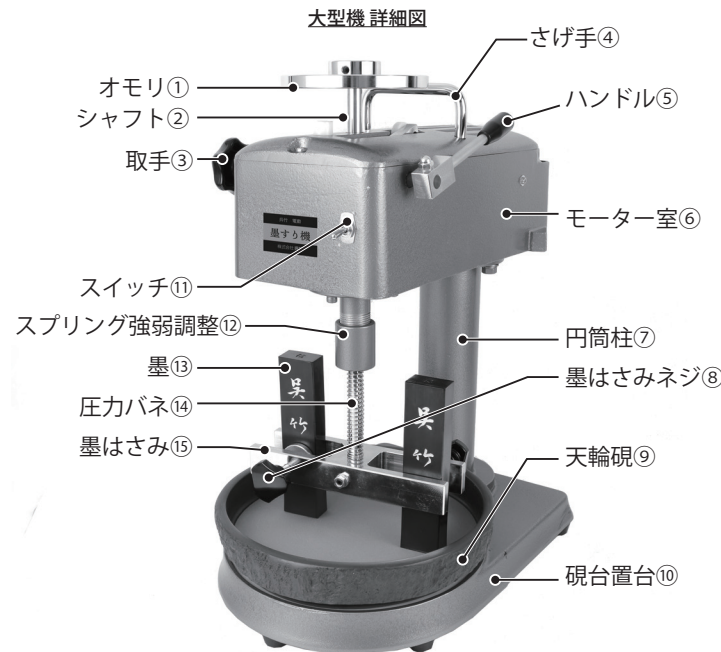
 Kuretake

呉竹墨すり機使用上のご注意

- 幼児の手の届かない所で保管・ご使用ください。
- ハンドルが重いため、両手で取手を持ちながら動かしてください。
- 硯石を硯石置台の中心に安定させて水平に据付けてください。
- 墨が硯面に水平に密着しているか確認してください。
- 天輪硯の硯面は鋒鋸が鋭いので余り強い圧力を掛けぬようご注意ください。
- 墨はさみのネジは回転途中ゆるまぬよう確実に締めてください。
- 硯の側面に墨が接触しないか確かめてください。
- 始動させる前、墨の回転軌道に必ず少量の水を入れてください。
- 天輪硯に入れた水は、墨の回転により磨墨液となり硯の側壁部に押しやられます。
- 磨墨が終われば墨を硯面より引上げてから機械の運転を停止してください。
- すり終わった時、墨に付着した水分を紙又は布で拭き取ってください。
- 長時間使用しますと硯石の面が滑る場合がありますが、その時は硯石の手入れをしてください。

操作の手順

1. スイッチ⑪を OFF にしておく
2. ハンドル⑤が重いため、ハンドル⑤と取手③を両手で持ち、手前にゆっくり引いて、墨はさみ⑮を引き上げる
3. 硯石置台⑩の中心に硯石を置く
4. 墨はさみ⑮に墨 2 丁をそれぞれ確実に取付ける
5. 取手③に手を添えてハンドル⑤をゆっくり元の位置に戻す
6. 天輪硯⑨に水を入れる
7. コードをコンセントに差し込みスイッチ⑪を ON にする（始動）



呉竹電動墨すり機保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に
本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

| | | | |
|--------|--------------|------|---------------|
| 型 式 | | 機械番号 | |
| 御 芳 名 | | | |
| 御 住 所 | 〒 TEL () | | |
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 保証期間 | 1年間(お買い上げ日より) |
| 販 売 店 | 〒 TEL () | | |

無料修理規定

1. 取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理させていただきます。
 2. 無料修理を御依頼になる場合には、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げ販売店にご連絡下さい。
 3. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
 4. ご贈答品で本保証書に記入されている販売店で無料修理が受けられない場合は、株式会社呉竹「お客様窓口」にご連絡下さい。
 5. 保証期間中でも次の場合には有料修理にさせていただきます。
 - (イ) 使用者の誤り及びに不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 本書のご掲示がない場合
 - (ホ) 本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行しませんので大切に保管して下さい。

Kuretake

株式会社 呉竹
〒630-8670 奈良市南京終町7-576
TEL:0742.50.2050
FAX:0742.50.2070
URL:www.kuretake.co.jp